

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09020200

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	15 環境の保全	事業優先度	B	
単位施策	1 自然環境の保護・再生	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	猟友会雄武部会運営補助金	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	猟友会雄武部会の円滑な運営		#N/A	
事業目標	有害鳥獣の捕獲	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	無	
住民協働		関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	運営補助金の交付	運営補助金の交付	運営補助金の交付 射撃場管理施設整備費補助金	運営補助金の交付 射撃場射台覆道整備費補助金	運営補助金の交付	運営補助金の交付	
	事業費(千円)	2,400	170	1,020	870	170	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	2,400	170	1,020	870	170	170	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	2,260	170	880	870	170	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	2,260	170	880	870	170	170	
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) 運営補助金の交付	(実施内容等) 運営補助金の交付 射撃場管理施設整備費補助金の交付	(実施内容等) 運営補助金の交付 射撃場射台覆道整備費補助金の交付	(実施内容等) 運営補助金の交付	
	【評価・実績】						
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 年度達成率	有害鳥獣の捕獲 100%	有害鳥獣の捕獲 86%	有害鳥獣の捕獲 100%	有害鳥獣の捕獲 100%	有害鳥獣の捕獲 100%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率 備考欄	7%	44%	80%	87%	94%

事業名	獺友会雄武部会運営補助金	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	林務係長	渡部 憲一

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	北海道獺友会興部支部雄武部会	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	有害鳥獣の捕獲		
【抱える課題やニーズは】	部会の円滑な運営	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	円滑な部会運営と部会活動の活性化	① 有害鳥獣の捕獲	目標年度	平成29年度	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	有害鳥獣個体数の減少と住民生活や農林水産業の被害軽減		目標値	1式	
		実績値	1式		
		達成度	100.0%		
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	北海道獺友会興部支部雄武部会への運営補助	北海道獺友会興部支部雄武部会の円滑な運営を支援するため、運営補助金を交付した。	②	目標年度	平成29年度
			目標値		
			実績値		
			達成度	#DIV/0!%	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	住民生活と農林水産業に影響を与える有害鳥獣を捕獲するには獺友会の協力を無くしては達成できないことから、北海道獺友会興部支部雄武部会が円滑に活動できるよう支援する必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	北海道獺友会興部支部雄武部会の円滑な活動と運営に繋がった。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	捕獲従事には免許等の資格が必要であり、更新費用やハンター保険の加入など金銭的負担が生じるため、負担の軽減を図りつつ最小限の補助金交付とした。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

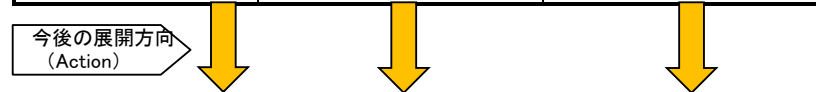
公平	判断の理由	住民生活の安全と農林水産業被害を軽減させる活動をしている団体への補助であるので、補助金交付は妥当である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
有害鳥獣の被害防止において、成果が現れていることから、今後も部会が円滑に活動できるよう事業を進めることが適当と判断する。		



継続/現状維持		
住民生活の安全と農林水産業被害を軽減させる活動をしている団体であり、その活動と運営には支援が必要であることから、現状維持が適当である。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止